

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3790200103		
法人名	医療法人社団厚仁会		
事業所名	グループホームこうじん		
所在地	香川県丸亀市松屋町11番地1		
自己評価作成日	令和 5 年 8 月 17 日	評価結果市町受理日	令和6年3月19日

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アストリーム・アライアンス		
所在地	香川県さぬき市津田町鶴羽2360-111		
訪問調査日	令和5年11月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームの近隣には、JR丸亀駅や通町商店街、丸亀城があります。文化、交通、商業等の恵まれた立地です。少しお散歩するだけで地元の見慣れたお城のある風景や商店をながめることができます。また駅が近いことからご面会にも便利です。併設の病院には、医師が24時間常駐しており安心です。ホーム内のリビングは天井が高く天窓もあり開放的で、感染症や気候の厳しい時でも建物内で快適にお過ごしになれます。「安心」「笑顔」「気配り」の理念のもと、入居者様の穏やかで質の高い暮らしのお手伝いができるよう職員一同努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点】

駅より徒歩5分、恵まれた立地条件の整った事業所である。事業所は病院に隣接し、アーケードのある商店街に近く静かな場所にある。長く住んでいる利用者には馴染みの病院であり、生活圏として受診やリハビリに通ったことのある場所となっている。災害時に駐車場が地域住民の避難場所となるなど、地域にも溶け込まれている。配慮や気配りを大切にされた管理者と、心優しい職員達により、「やりすぎない介護」を目標に、利用者の意欲の高まりややりたいことの実現を念頭に支援が行われており、自主研修や資格取得などへの自己研鑽にも励まれている。また、医師や看護師、理学療法士などの専門職の訪問も多く、連携が密にとれている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「安心・笑顔・気配り」の理念に基づき、毎日のミーティングや毎月の勉強会において、ケアについてふりかえり、「安心・笑顔・気配り」の理念に照らして確認を行っています。施設内に理念を掲げています	開設以来の理念が大切に守り育てられている。業務開始時のミーティングや終わりの振り返り、毎月の勉強会で理念について理解が深められている。具体的な目標は毎年、利用者と共に考え、理念と共に掲示し、一丸となり実践に活かされている	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	街中であり、お散歩や併設の病院にむかう途中、ご近所の方に会う機会があります。窓ごとに、近隣の様子をうかがうことができます。感染対策をとりながら、近所の商店街の行事に参加しています	古くからの商店街と同一法人経営の病院・事業所は隣接しており、道を歩くと近所の人に出会う機会が多々あり、挨拶や自然な会話に繋がっている。また、近隣のイベントや行事には感染対策をして参加されている	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	個人情報に配慮しながら、運営推進会議を通じて事例等もご紹介しながら、認知症についての情報提供をさせていただいています。民生委員さんから、情報を教えていただくこともあります		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日頃のケアの状況についてご報告し、ご意見をうかがっています。個人情報に配慮しながら個別のケアについてのご意見もお聞きしたり、介護保険制度等についてのお話しもさせていただきます	運営推進会議は対面で実施されており、自治会・家族・利用者・市の担当者と医師・事務長・管理者が参加している。商店街のイベント参加や利用者の状況を報告、ケース会議、市からの連絡事項などが話し合わせ、サービス向上に活かされている	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者には、運営推進会議にご参加いただき、ご意見をうかがっています。制度やケアについて不明なこと等あれば、その都度ご連絡し相談させていただいています。また、研修会や連絡会等の機会をとらえ、お話しをさせていただいています	行政は医療と福祉の連携ネットワークに力を入れており、介護保険施設連絡会や研修会、市医師会の研修会を福祉関係者に開放するなど、研修や交流の機会が増えている。事業所も市担当者の参加した運営推進会議や、役所に相談したり出向くなどして関係づくりの構築につとめられている	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会を通じて認識を深めるようにしています。指針基準を満たしていても、その方にとり意思にそわないケアになっていないか、業務内容の見直しも同時に行ない、拘束のないケアに取り組んでいます	身体拘束については医師から直接講習を受けられるなど、勉強会取り上げて認識が深められている。また、オンラインで自主的に講習を受けるなど、拘束の無いケアに取り組まれている	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	勉強会を通じて虐待防止について学んでいます。医師からお話をきいたり、介護、接し方についてふりかえりを行い、考えながらケアを行うようにしています		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	市の介護保険施設の連絡会や研修を通じて、情報を得ています。また包括支援センター、社会福祉協議会からもアドバイスをいただいています。運営推進会議棟を通じ地域の皆様やご家族様に情報提供を行っています			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、サービスの内容について丁寧に説明しています。不明なこと等は、その都度連絡していただくようにお声をかけ、その都度対応しています			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームに来ていただいた時に、お話をさせていただいたり、お電話でもその都度ご意見をおききしています。個人情報保護に気をつけながら、かかりつけの医師を通じる等ご意見を把握しています	利用者の状況を随時家族に報告したり、面会時等には出来るだけ意見をうかがうよう取組まれている。運営推進会議には上司である医師や事務長も参加して、家族や地域自治会の役員の意見や考えを直接聴取し、運営に反映させている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の法人全体での朝礼を通じて、その都度お話ししています。毎日のミーティングにおいても意見の表明の機会があり、また月1度の勉強会においても、意見を求め、代表者、管理者、職員間のコミュニケーションを図っています	法人全体での朝礼後、事業所での朝礼も行われており、職員と話し合いが持たれている。月1回の勉強会等も意見が言いやすい雰囲気づくりに配慮されている。管理者は代表者や職員の間にとってコミュニケーションの進展に努められている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日ごろから気軽にコミュニケーションがとれるよう、代表者や職員相互で声をかけ合うようにしています。個人情報の保護に配慮しながら、ケースに応じて全体で、あるいは個別でお話ができ職場環境の整備に努めています			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部の勉強会を行うとともに、インターネットを使用した外部研修を行っています。ケアの技術の向上とともに、キャリアアップの情報も共有でき、やる気を通じてスキルアップが図られるようにしています			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市の介護保険施設連絡会や研修会を通じて、他事業所の方々と接する機会を得ています。系列の他事業所の方々とも交流があります。また、専門誌の購読を通じて、他事業所の取り組みを知る機会をもっています			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人のお言葉を丁寧におききしています。お言葉による表明が難しい場合も、ご家族のほか、個人情報保護に配慮しながら、かかりつけの医師や看護師ケアマネージャーさんからお話をうかがうようにしています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者、ケアマネージャーがお話しさせていただくことが多いのですが、一方でお話ししやすい他の職員がお話しさせていただくこともよくあります。事前の情報等をもとにしながら、その時のお気持ちによりそいながら、お声をかけるように気をつけています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現状について丁寧に把握するとともに、そこに至る経緯について及びご要望について把握するように努めています。やホームでのケア、サービスの内容について丁寧に伝えもして、選択が行えるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として、敬意をもって接するよう心がけています。身体や判断力が低下しても経験に基づいたアドバイスをうかがいながら、よりよい質の生活がおくれるよう助け合いながらサービスを実施しています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホーム内において職員だけで全てのことを完結させることはできず、ご家族とともにケアにあたっています。入居者様おひとりおひとり、またご家族ごとに異なる背景やそれに伴う対応力があり、その方らしい生活ができるように配慮しています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	運営推進会議に地元の自治会の方もおこしになり、ご関係が続いています。ご家族以外にもお友達やお知り合いからのお電話やお手紙を取り次いでいます。気候や感染症に留意しながら近所に出かけています	地元自治会役員の訪問や、近所へのお出掛け、家族以外からの手紙や電話の取次ぎなど、コロナ禍でも馴染みの関係が途切れないよう支援が行われている	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の作業をいっしょに行っていたり、リビングの机やソファの配置を工夫し、リラックスしてコミュニケーションがとれるようにしています。聴力や視力の低下をカバーできるように配慮しながら職員がコミュニケーションの橋渡しを行っています		

自己	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	介護度の改善、入院等で他の場所へ移られた時、それまでの関係性を大切に、情報の保護に配慮してその共有を図り、サービスの継続性や質が向上に資するように努めています	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望、意向を表明しにくくなっていることが多いですが、ご本人本位の暮らしができるように、ご家族をはじめご入居までにかかわってこられた方々の助けを得ながら、その把握ができるようにしています	高齢の利用者が多い中、家族やこれまでの長いつながりのある関係者も話を聞き、本人の思いが把握されている。職員同士も一人ひとりの思いや希望について話し合い、情報も共有されている
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族からの情報のとともに、かかりつけの医師や、リハビリ担当者の協力を得ながら、その把握ができるようにしています。サービス担当者会議や、その都度のご連絡を通じて把握に努めています	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェック、その都度の把握、ミーティングによる情報共有により、切れ目なく、またタイムリーにご状態の把握、対応ができるようにしています。医師による定期の回診や随時の受診、看護師への相談も行っています	
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングを担当制で実施しています。また担当者による丁寧な把握とともに、カンファレンスを行い、課題の抽出と対応の検討を行っています。これを通じて、よりよいケアにむけた介護計画書につなげるようにしています	モニタリングは担当の職員が行い、カンファレンスを通じて職員全体で課題や対応が検討されている。介護計画はケアマネジャーが情報を取り纏め、本人や家族等に説明、同意を得て実施されている
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のケース記録において、介護計画に対応したケアを行っているか、確認できるようにしています。これを通じて、さらなるケアの質の向上や、現状にそわない場合は、介護計画の見直しにつなげられるようにしています	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医師やリハビリ担当者等の専門家のアドバイスを受けながら、ホーム内だけでなく併設の病院や通所リハビリ等と協力し、柔軟な対応ができるようにしています	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族はもちろん、かかりつけの医師や看護師、リハビリ担当者で協力し、日々のケアにあたっています。また自治会や商店街の皆さんの協力で、これまで暮らしてこられた慣れた地域での暮らしが継続できるよう支援しています			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日頃、診てもらっている医師の協力も得ながら、それぞれの専門の医師、歯科医師等との関係を日頃からつくっています。ご本人、ご家族の方々を受けて感染症に留意しながら、適切な医療が受けられるように努めています	かかりつけ医の診療に加え、専門医や歯科医との連携も取られている。また、外部への受診にも家族とともに職員が付き添うなど支援がなされている。バイタル等日頃の状況は担当看護師を通じて医師に伝えられており、異変等の早期発見に繋がっている		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日のバイタルチェック、気づきを連絡ノートに記入し、医師に提出しています。変化があった場合は、その都度すぐにご相談や受診につなげています			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医師をはじめ、看護師、リハビリ担当者、薬剤師、管理栄養士と連携し、治療と退院にむけた情報交換、相談を随時行っています。個人情報の保護に配慮しながら、管理者やケアマネージャー以外でも随時情報が得られるよう、日頃からのコミュニケーションに努めています			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人、ご家族のお気持ちに配慮しながら、重度化の場合のケアについて、ご契約時にご説明しています。専用のアンケート票を作成し、終末期についてご要望を把握しています	本人や家族等へ入居契約時に、重度化や看取り期での対応について、説明がなされている。アンケートを実施して、重度化や看取り期における本人や家族の意向が確認されている。希望や同意があった際は、医師や各職種、ご家族等と連携し、看取りケアも実施されている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応について、個別の実践力の向上を勉強会を通じる等して行っています。医師のアドバイスを受けるとともに、自身の行える限界を知り、独断でなく多職種での対応ができるように備えています			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議において、地域の方と災害時の対応の確認を行っています。ホームの駐車場が地域の避難場所となります。併設の病院とともに避難場所や連絡体制の確認をしています	法人では年2回、事業所では年2回は避難訓練を行い、避難訓練マニュアルの見直しや修正も行われている。避難場所は病院で早目の避難を実施して、実際病院で一晩過ごされた経験もある。また、地域の方との情報交換等もなされており、駐車場が地域住民の避難場所に指定されている	事業所の防災カアップと地域の災害拠点としての機能を更に強固なものとするため、今行われている地域との連携に加え、更に具体的な合同訓練の開催や課題の整理と克服に繋がる活動の実施に期待します	

自己	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として敬意をもって接するところを心がけています。価値観が多様化する中、おひとりおひとりが尊重され、人権が守られるよう、勉強会等を通じて個別及び全体でのふりかえりをおこなっています	職員には利用者の貴重な体験や経験を常に傾聴して学ぶ姿勢がみられる。市の連絡会や医師会等の研修も活用し、人権の尊重やプライバシー保護に関して学ぶ機会や考えるきっかけとし取組まれている
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ホームの理念である「気配り」を念頭に、日頃の気づきを大切に、ご希望をくみとるとともに、ご希望が表明しやすい雰囲気をつくるように心がけています。日頃の何気ない会話やコミュニケーションを大切にしよう勉強会等で確認しています	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居に至るまでの生活習慣を把握し、継続できるようにしています。起床や入床、お食事の時間等、リズムを大切にしながらも、一律にならず、自由にリラックスしてお過ごしいただけるようにしています	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身体や判断力の低下がある中でも、思い思いの服装や整容動作が行えるように支援しています。ご家族の協力も得ながら、衣服の準備や理容のサービスが受けられるようにしています	
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おひとりおひとりのできることをそれぞれ、無理のない範囲で行っていただいています。経験を生かしたメニューづくりや味に対するご意見、アドバイスをうかがいながら、役割を実感できるよう支援しています	ご飯やお汁は事業所にて、おかずは病院の厨房から届けられている。献立は月1回給食委員会があり、利用者の意見も参考に検討されている。利用者は下膳やお盆拭きなど出来る範囲で参加されており、手作りおやつの日には、自分達がひと手間加えた特別なブレンド等を楽しみ、喜ばれている
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご家族の協力も得ながら、好きな食材や飲み物の差し入れ等を個別に行っていただき、量や質の補充をしています。医師のアドバイスのもと栄養補助食品をとり入れる等、無理なく栄養バランスがとれるようにしています	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	おひとりおひとりのご状態に合わせたケアを自分でおこなえるようお声をかけたり、お手伝いしたりしています。歯科の訪問診療を受けていただくこともあります。また歯科医師のアドバイスもいただいています	

自己	外部	項目	外部評価		
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	意思を尊重しながら、トイレでの自立した排泄をめざして、ポータブルトイレ等を組み合わせながら支援を行っています。他の動作に比べプライバシー、人権に特に気をつけてながら対応しています	一人ひとりの排泄パターンや特徴を把握し、利用者が一人で出来にくいところの支援がなされている。転倒などを考慮して、ポータブルトイレ等も使用し、出来る限りトイレでの自立した排泄が目指されている。プライバシー保護のため、カーテンや衝立などにも配慮がなされている	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分が無理なくとれたり、バランスのよい食事をとることでの排便ができるように気をつけています。医師や管理栄養士と連携しながら、おひとりおひとりの健康状態、病状を考慮して、対応しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ある程度時間帯や曜日を設定していますが、汗や排泄等その時の状況により、基本の日時とは別に随時シャワー等行うようにしています。入浴剤を工夫したり、清潔とともに心身のリラックス効果もこころがけています	日曜日以外は入浴日となり、その内2日は座位の機械浴が予定されている。季節や汚染の状況により、シャワー浴や手指浴等を行い、利用者の要望に沿えるよう柔軟な対応もなされている。入浴剤などへの配慮もなされている	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動量を気にしたり、就寝前の落ち着いた雰囲気配慮する等して、安眠できるように努めています。生活のリズムに気をつける一方で、日によっては本を読んだり、テレビを見て夜更かしも時々しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師、薬剤師と連携して、おひとりおひとりが理解、納得の上、服薬できるように配慮しています。症状の変化に気をつけ、日々の連絡ノート等通じて医師に報告し、適切な処方が受けられるように支援しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本を読んだり、音楽をきいたり、好きなことが続けられるようにお手伝いしています。食事のメニューについて考える等、ホームの運営についても積極的に意見を表明していただけるようにお声をかけています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所の商店街やお城へ出かけたり、自動車で公園へお花をみに出かけています。感染症に気をつけながら、ご家族と協力して外出しています。法事等ご家族の行事にも出かけられるように準備をしています	コロナ禍でも感染に注意して、日常での散歩や近場でのイベント参加、受診やリハビリのため必要に応じた通院等継続されている。また、ドライブで季節の花を觀賞したり、商店街に七夕飾りを見に行ったりも行われており、家族等との外出も徐々に再開されている	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自動販売機で飲みたい飲み物を買ったり、共同購入のチラシを見て、食べたいお菓子を選んだりしています。手持ちの中から、訪問の散髪代を支払うこともあります		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご自身の携帯電話を利用してご家族等と連絡を自由にとっていただいたり、ホームの電話のご利用をお手伝いしたり、おひとりおひとりのご状態やご要望に合わせて支援をしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは、天井が高く天窓もあり、開放的で、気持ちよく過ごせます。パラソルを使用して日差しを調節し、気候にも配慮しています。リビングからつながるウッドデッキに植物を置いたり、掲示により季節を感じる事ができるようにしています	リビングは建物の中心部に位置し、天井が高く、天窓から自然光も差し込み、明るい。また、どの居室からも集まりやすく、食事やレクリエーション等活動がなされている。利用者が季節感が味わえるよう、季節に合わせた装飾等もなされている。また、リビングから出られるウッドデッキもあり、植物を見ながら外気浴をするなど活用されている	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでは、ソファや机の位置を工夫し、おひとりでも、皆さんでもリラックスして、気分よく過ごしいただけるように配慮しています。皆さんでいっしょにテレビをみたり、おひとりですべて静かに本や新聞を読むこともできます		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の写真を置いたり、好きなお花(造花)やぬいぐるみを置いている方もいらっしゃいます。使い慣れたラジオや冷蔵庫等の電気製品をお部屋に置いている方もいらっしゃいます	居室の入り口は、〇〇様と名前が表示されている。部屋には、床頭台やベッド、固定されたタンスが配置されており、それに加え利用者の思いのこもった品物や写真、電化製品を持ち込みゆったりと過ごせるようそれぞれ工夫されている	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お部屋内のベッド、ポータブルトイレの位置等を車いすや歩行器でも、ご自分で安全にアプローチできるように工夫しています。浴室やトイレの表示を環境に配慮しながら、分かりやすくしています		